



奈良県内経済情勢報告

(平成30年4月判断)

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項目	前回 (30年1月判断)	今回 (30年4月判断)	前回比較
総括判断	持ち直している	緩やかに回復しつつある	↑

(注) 30年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は緩やかに回復しつつあるほか、生産活動は緩やかに持ち直しており、雇用情勢は着実に改善している。

【各項目の判断】

項目	前回 (30年1月判断)	今回 (30年4月判断)	前回比較
個人消費	持ち直している	緩やかに回復しつつある	↑
生産活動	持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	↑
雇用情勢	着実に改善している	着実に改善している	→
設備投資	29年度通期は前年度を下回る計画	29年度通期は前年度を下回る見込み	→
企業収益	29年度通期は減益見込み	29年度通期は減益見込み	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策効果もあり、県内経済の回復の動きが強まっていくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

2. 各論

【主な項目】

■ **個人消費** 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売額は、飲食料品が持ち直しているものの、衣料品が伸び悩んでいることから、前年を下回っている。

コンビニエンスストア販売額は、惣菜やカウンター商品、チケット関係などが好調なことから、前年を上回っている。

ドラッグストア販売額は、新規出店効果に加え、化粧品や医薬品などが好調なことから、前年を上回っている。

ホームセンター販売額は、天候の影響から客数が落ち込み、園芸用品などが低調なことから、前年を下回っている。

家電大型専門店販売額は、テレビなどが好調なことから、前年を上回っている。

乗用車新車登録届出台数は、軽自動車は前年を上回っているものの、新型車投入効果の一巡などから、普通車及び小型車が前年を下回っており、全体では前年を下回っている。

観光動向は、ホテル新設効果もあり、奈良市内のホテル宿泊人数が前年を上回るなど、堅調な動きとなっている。

- 衣料品は1月のセール以降も寒い日が続くも冬物衣料はほとんど売れてしまい、売れる商品が無くなってしまったが、3月に入ると気温の上昇に伴い春物衣料の売行きがよく、売上が伸びている。飲食料品は店舗リニューアルを行ったことから足下で好調に推移している。化粧品を中心に訪日外国人客の消費も引き続き好調。
(百貨店)
- 野菜は天候不順の影響で価格が高騰していたものの極力単価を抑えたことで購入点数が伸びて売行きがよかった。米や精肉関係も好調な一方で鮮魚はあまり伸びていない。客数は増えていないものの、客単価が上昇し、売上が伸びている。
(スーパー)
- 中食需要から惣菜やパンなどが商品リニューアル以降好調なほか、カウンター商品、チケット関連、酒類などもよく売れている。
(コンビニエンスストア)
- 春節の影響で中国を中心に外国人観光客の客足が好調であり、化粧品を中心に、医薬品や食品も好調であった。
(ドラッグストア)
- 寒い日が続いたことから1,2月は客足が伸びず園芸関係や住居関連品の売上が低調であったものの、3月に入ると気温の上昇に伴い園芸関係や新生活向けの売上が伸びている。
(ホームセンター)
- ゲーム関連機器が足下で一巡による落ち込みがあるものの、冬季オリンピックやワールドカップが今年開催されることもあってテレビの買替えが進み、有機ELや4Kなどの高画質テレビや録画機器がよく売れている。
(家電量販店)
- 安全機能を高めた人気車種が引き続き売れているものの、昨年の新車攻勢が続いた勢いがやや落ちてきている。
(自動車販売店)
- 奈良市内では、ホテルの新設により夜間の利用客が着実に増加している。
(陸運)

■ **生産活動** 「緩やかに持ち直している」

鉱工業生産指数で見ると、一般機械などが低下しているものの、化粧品等の需要増加に伴いパッケージ印刷の受注が好調なことなどから印刷業が上昇するなど、全体では緩やかに持ち直している。

- 訪日外国人客向けの化粧品売上が好調で、パッケージ印刷の受注が増加しており、工場はフル稼働となっている。
(印刷)
- 自動車向けや工作機械向けが好調で、工場の生産能力を超えて需要があるが、人手不足等でなかなか生産量を増やせていない。
(生産用機械)
- 今期は年度末決算期で自動車メーカーは増産体制に入っており、当社も生産量を増やして対応している。
(輸送用機械)

■ 雇用情勢 「着実に改善している」

有効求人倍率は1.3倍を超えて緩やかに上昇している。新規求人数も増加傾向にあるなど、雇用情勢は着実に改善している。

- 医療・福祉、建設など幅広い分野で人手不足の状態が続いている一方で、事務職など求人倍率が低水準となっている職種もある。求職者は求人が豊富にあるため、給与面を含め雇用条件のいい企業を選択する傾向にある。
(官公庁)
- 人手不足から一部の技術者に業務が集中し、残業時間が増えている。中途採用を行う予定であるが当社が求める人材が見つかるか分からず、技術者が不足すれば受注獲得の機会を失いかねない。
(電気機械)
- 非正規雇用から正規雇用への転換や中途採用、営業職への女性の採用を積極的に行い、人材確保に努めている。
(自動車販売店)

■ 設備投資 「29年度通期は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」30年1~3月期

- 製造業では、食料品などで前年度を下回っているものの、化学などで前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、宿泊業などで前年度を上回っているものの、物品賃貸などで前年度を下回っていることから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。

■ 企業収益 「29年度通期は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」30年1~3月期

- 製造業では、はん用機械などが増益となるものの、生産用機械などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業では、物品賃貸などが増益となるものの、建設などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

【その他の項目】

- 企業の景況感 法人企業景気予測調査(平成30年1~3月期調査)の景況判断BSIで見ると、現状判断は「上昇」超で推移している。
- 住宅建設 新設住宅着工戸数で見ると、持家・貸家・分譲の全てにおいて前年を下回っている。
- 公共事業 前払金保証請負金額で見ると、国や府県などで減少していることから、前年を下回っている。
- 企業倒産 倒産件数、負債総額ともに前年を上回っている。

[連絡・問い合わせ先]

近畿財務局 奈良財務事務所 財務課
TEL 0742-27-3162 (直通)